

「SHIP! SPACE」講座



当事者・家族と、ともに考える、学び合う、対話する、実践する、一步を応援

ハイブリッド講座 第3回 (全12回シリーズ)

身寄り無し問題と8050問題

第1部

家族がいてもいなくても。

身寄り無し問題は
すべての人にかかわる問題

単身世帯が全世帯の3割を超え、将来は半数に迫ると予測される現代。身寄りがいない、あるいは親族に頼れない人が人生の最終盤に直面する困難とは何か。家族がいても関係断絶や高齢化、ひきこもり等の理由で、入院や契約に必要な「身元保証人」を立てられないケースもある。身寄り無しや孤立死は社会全体の問題である。私たちは人生をどのようにしようか。誰もが直面しうる問題として、今ある現状から、これからの生き方を考えたい。**キーワード:**「緊急時」「医療・介護・身元保証」「財産管理」「住まい」「死後事務」



たきの たかひろ
滝野隆浩

1960年生まれ。毎日新聞客員編集委員、ライター。10年ほど前から「引き取り手のない遺骨」問題を取り上げ、いち早く「身寄りなし」問題に着目し取材を重ねる。生活困窮者の福祉問題から単身高齢者の増加や家族観の変容に伴う現代的な課題として発信。毎日新聞日曜紙面の名物コラム「掃苔(そうたい)記」では、人生最終盤における医療、介護、終活・葬儀など「周死期」に関する連載を続ける。

第2部

8050問題の現在。

助けてと言えなくても孤立しない、高齢化する今とこれからを生きる

「親なきあと、誰がどう支えるのか？」家族だけで抱えるには限界がある、高齢化や複合課題に対し、公的支援の狭間を埋める市民主体の地域コミュニティが求められている。本講座では、孤立を防ぐ見守りや権利擁護、住まい支援、看取り後のグリーフケアまで、私たちが今から取り組める事例を交えて共に考える。**キーワード:**「居住支援」「市民後見」「互助社会」「地域コミュニティ」など



おの ぎ や す お
小野木康雄

1975年生まれ。大阪府枚方市出身。1998～2019年に産経新聞大阪社会部、政治国際部、京都総局などに在籍。2019年12月に宗教専門紙「文化時報」社長兼主筆に就任し、2021年10月に一般財団法人お寺と教会の親なきあと相談室を設立、代表理事となった。



ふじい なお
藤井奈緒

(一社)親なきあと相談室 関西ネットワーク代表理事。一財)お寺と教会の親なきあと相談室理事兼アドバイザー。大阪府八尾市在住。障害のある二人の娘の母。自身の経験から「親なきあと」の生活や法的な備えの重要性を痛感し、当事者家族の立場で法律・福祉の専門家と「一般社団法人 親なきあと相談室 関西ネットワーク」を設立。現在は家族が安心して笑顔で暮らすための情報提供や終活の講演活動に注力。



いけがみ ま さ き
池上正樹

1962年生まれ。横浜市出身。SHIP! 共同代表。ジャーナリスト。KHJ兄弟姉妹オンライン支部代表。長年ひきこもり状態にあった弟が親亡き後に孤立死した。「きょうだいが面倒を見るのは当たり前」という社会的圧力が親亡き後に、兄弟姉妹(きょうだい)に重くのしかかる「8050問題」の現実も伝えている。

第3部

当事者の声から。

家族の介護、自分の役割、居場所を見つけるまで



なか た か ず お
中田和夫

1970年静岡県生まれ。うつ病のため、大学卒業後に入社した会社を1か月で退職し、その後の20年余りを療養と就労のためのリハビリに費やす。精神科通院やカウンセリング、自助グループへの参加により少しずつ就労の機会を増やしていき、40代で再就職。その後、介護離職をし、自身もひきこもり当事者として親の介護の傍ら、子ども時代に親の離婚を経験した当事者の自助グループ運営に関わる。現在は、8050当事者として、地域に居場所を見つけながら、社会に届ける活動にも力を入れている。



うえだ り か
上田理香

1971年東京生まれ。SHIP! 共同代表。講座コーディネーター。ひきこもり家族会活動を通じ8050問題に携わる。両親の介護・看取りの経験から「身寄り無し問題」に関心を持つ。家族や本人が最期まで自律的に生き続けるための情報発信、相談支援にも注力する。

6月25日(木)

18:00
↓
20:30

本講座はリアル会場とオンラインのハイブリッド開催です(会場は「結・しぶや」詳細は裏面)
アーカイブ配信有 7月16日から配信

受講費

ひきこもり・生きづらさ当事者、経験者
1回 1,500円(税込1,650円)

支援者・家族・一般
1回 3,500円(税込3,850円)

SHIP! SPACE講座は、年間全12回。
当事者フリーパス・会員フリーパス割引、
団体割引があります。詳細は
チラシ裏面・公式サイトをご覧ください。

【お問い合わせ】

一般社団法人SHIPひきこもりと共生社会を考えるネットワーク
上田理香(コーディネーター、SHIP共同代表) 池上正樹(コメンテーター、SHIP共同代表)

<https://shiphiki>
SHIP! ひきこもり

お申込、
詳細はコチラ ▶



見えなかったもの、見過ごされていた課題に光を当て、
生きやすい今とこれからを当事者視点で考えていく

SHIP! SPACE講座 (2026年度)

今苦しむあなた、家族、支援者、かかわるみなさんに知ってほしいこと、一緒に考え、実践していきたいこと。

制度の狭間を当事者視点から考える ～「生きる」と「暮らし」と「尊厳」をテーマに～

全12回

毎月第3火曜日 18時00分～20時30分

オンラインもしくはハイブリッド(アーカイブ有。オンライン開催のみの場合もあります)

※6月のみ月2回 ※6月25日のみ木曜開催 ※タイトルは変更になる場合があります

ハイブリッド開催の場合のリアル会場＝渋谷区地域共生サポートセンター《結・しぶや》

渋谷区桜丘町23-21 渋谷区文化総合センター大和田9F

第1回 5/19(火)

いじめ後遺症を
生きる

講師＝
イナ 「いじめ後遺症ドットコム」主宰

瀬尾りお 「いじめからの逃げ方」著者

参考図書：SHIP! 第4号

第2回 6/16(火)

ひきこもりと働く

本人と社会と働くの
間にあるギャップ
働きたいか、働くとは
なんなのか？

講師＝当事者、家族、ピアサポーター
協力：KHJ全国ひきこもり家族会連合会

参考図書：SHIP! 第5号

第3回 6/25(木)

身寄り無し問題と
8050問題

住まい、医療、身元保証
家族がいてもいなくても
情報が助けになる

講師＝
滝野隆浩 毎日新聞客員編集委員
藤井奈緒 (一社)親なきあと相談室
関西ネットワーク代表理事

第4回 7/21(火)

自分の経験、
生きづらさを
言葉にして
伝えてみる

講師＝
滝野隆浩 毎日新聞客員編集委員

第5回 8/18(火)

学校の『当たり前』
を問い直す

不登校・ひきこもり・多様な
困難の中にいる子どもたちの
未来を拓くために

講師＝
西村祐二 岐阜県立高等学校教諭

内田良 名古屋大学大学院教授

第6回 9/15(火)

住まいと命と人権と
引き出し・押し出し・説得

講師＝当事者、
日本羅針盤法律事務所、
中井町議会議員、養育里親

第7回 10/20(火)

自宅に居たまま
生活の質を上げる

～ケアの訪問化へ
医療、内科・歯科等の往診、
訪問美容、訪問マッサージ等の
在宅生活を支える
(KHJ実態調査から)

第8回 11/17(火)

感覚過敏の人が
感じている世界
生きづらさを知る

講師＝当事者、家族、有識者

参考図書：SHIP! 第4号

第9回 12/15(火)

お金のこと
家族と話すには

きょうだいと家族の葛藤

講師＝兄弟姉妹、家族、有識者

参考図書：SHIP! 第4号 / たびだち108号

第10回 1/19(火)

生活保護と
ひきこもり

一步を踏み出す
当事者たちの声から

講師＝当事者、家族、
ケースワーカー、有識者

参考図書：SHIP! 第7号

第11回 2/16(火)

8050問題
介護と暮らしと発達特性

～片付けられなくても
買い物できなくても

講師＝地域包括支援センター
成年後見センター、当事者、家族

参考図書：SHIP! 第7号

第12回 3/16(火)

自分に合った
居場所(人)を探して

～自宅も居場所

講師＝当事者、家族、
地域の居場所コンシェルジュ
(昼スナック、お寺、メタバース、
書店、カウチサーフィン etc.)

参考図書：SHIP! 第8号 / たびだち106号

受講費 オンラインもしくはハイブリッド(アーカイブ有)

当事者・経験者＝1回1,500円(税込1,650円) ※第4回のみ2,000円(税込2,200円)

支援者・家族・一般＝1回3,500円(税込3,850円)

SHIP!会員フリーパス(全11回・参加可能 第4回はワークのため含まれません)

(定期購読・ネットワーク会員) 当事者8,000円(税込8,800円) それ以外の方28,000円(税込30,800円)

※会員以外の方・ニュース会員の方は別料金となります。お問い合わせください。

団体割引＝アーカイブ視聴5名様分のお申込で何名でも無料(1回につき)